

# 教育センターだより

令和6年度 第2号

黒部市教育センター

## 学校訪問で見つけた“素敵”

黒部市教育委員会教育長職務代理者 浅野 詠子

小中学生がタブレットを巧みに使いこなしているのに触発され、私は今年度からLINEのKeepメモを日記代わりに使うことにしました。8割ほどは正しく音声入力できるので時間がかからず、しかもペーパーレスなので、重宝しています。以下、その中から抜粋します。

6月20日◆100%を目指す、教師を対象としたアクションプランが素敵。また、公開授業の授業者を8人に絞ったところも新しい試みだった。◆2年道徳「清掃はやさしさ」。アナウンサーのような先生の音読に聞き入ってしまう。この教材に生徒もきっと心動くはず。先生の笑顔、子供たちの笑顔が素敵だった。

6月26日◆1年「ぐるぐるランド」などの絵が素敵。14枚全て楽しそうな人物が描かれ、明るい絵に仕上がっていた。子供たちの姿勢も、全員背筋が伸びていて気持ちいい。

7月2日◆指導案の中の、私にとっては謎の言葉（ASGO カフェ、お気に入り袋、キャラクターからのお願い、コグトレ等）が、子供たちの実生活と結びついているのが素敵。◆手入れの行き届いた、花と緑いっぱいの円形花壇に心癒やされた。

7月3日◆子供たちを引きつける先生方の話術が素敵。大いに見習うべきと感じる。◆3、4、5歳児全員が、ちっちゃな椅子に腰掛け、先生の顔を見て話を聞く態度に感心させられる。たいよう組、昨年より落ち着き、成長著しい。

9月17日◆ここ最近では珍しくなった指定授業、2年道徳「モムンとヘーテ」。児童が自分の考えや意見を自由に表現できる環境が整えられていて、模範授業を見ているようだった。板書の構成も非の打ちどころなく完璧。廊下に貼られたザリガニの絵は、色使いが豊かで素敵だった。

10月3日◆指導案の学習課題や教師の発問に工夫が見られ、素敵。どの学年も落ち着いた雰囲気でも学習に取り組んでいた。◆算数の新幹線の座席に関する設問は、誰もが取り組んでみたくなるような設定で、私たち教育委員も思わずいろいろなパターンを考えてメモした。

10月12日◆秋晴れの運動会日和。校長「赤組のみなさん、おはようございます。」赤組のみんな「おはようございまーす。(ありったけの声)」校長「青組のみなさん、おはようございます。」青組のみんな「おはようございまーす。(負けじとありったけの声)」校長先生の子供たちの闘争心を掻き立てる挨拶が素敵。この後の、子供たちの全力で頑張る姿が素敵だったので、つつい予定より長居してしまった。

11月28日◆今日、センターだよりの原稿を書き終えた。これからもいろいろなことに関心をもち、たくさんの“素敵”を見つけて感動し、前へ進みたい。



## 新規採用教員のみなさん

生地小学校 教諭 高岡 千紘

「『ただいま!』と言いたくなる教室に」

「ただいま!」子供たちがそう言って教室へ入ってくる姿がとても好きです。教室を自分の家のように感じてくれているのかなと思うと嬉しくなります。目まぐるしい毎日の中でも、教室が子供たちにとって安心できる居場所になるように温かい学級の雰囲気づくりを心がけています。これからも、恵まれた環境に感謝と謙虚な気持ちを忘れずに、子供たちとの日々を丁寧に紡いでいきたいです。



センターに届いた獅子柚

たかせ小学校 教諭 熊谷 蒼生

「子供と共に学ぶ」

4月から教員として働き始めて、半年が経ちました。毎日の子供との関わりの中で、日々の成長にたくさんの喜びや驚きを感じています。何事にもチャレンジしようとする姿や遊びや勉強に全力で取り組んでいる姿を見て、気付かされることが多々あります。子供に教えるという立場であるからこそ、常に学び、成長し続ける教員でありたいです。今後とも支えてくださる諸先輩方や保護者の方々、地域の方々への感謝を忘れずに日々精進していきます。

村椿小学校 教諭 廣瀬 風花

「子供たちと共に学ぶ」

着任して早半年が過ぎました。4月当初は、担任として務められるのか不安と緊張がありました。しかし、分からないことを子供たちに教えてもらいながら、共に学んできました。授業では、予想外の考えや疑問にはっとさせられることがあり、感心させられます。子供たちが意欲的に授業に取り組むために、まずは興味・関心をもてる授業づくりを行っていきけるよう、努力していきたいと思ひます。

中央小学校 教諭 堂谷内 康生

「子供から学ぶ日々」

教員生活は苦難の連続で、日々新たな課題に直面しています。しかし、周囲の先生方の支えや、子供たちとの充実した時間の中で、教員という仕事のやりがいを強く感じています。成果や課題は、授業や生活の中で見られる子供たちの反応に現れるため、そこからたくさんのことを反省し、学んできました。「子供」は私にとって「一番の教師」であることを知りました。今後子供たちから学び、共に挑戦しながら日々精進して参ります。

中央小学校 教諭 松本 幸音

「一つ一つの関わりを大切に」

この半年間の日々は、濃密でとてもあつという間でした。活発な子や落ち着いた子、素直になれない子等、様々な子供たちと何気ない会話を積み重ねていくことで仲良くなることができました。どんな話でも聞いてもらえるという安心感が子供にとって大切で信頼関係づくりにつながると気付きました。子供との関係づくりは、「小さな関わりでの積み重ね」だと実感しています。今後も一つ一つの関わりを大切にしていきたいと思ひます。

桜井小学校 教諭 高木 愛奈

「子供たちとの関わりの中で」

桜井小学校に着任して、気付けば半年が過ぎました。子供たちとの関わりの中で、たくさんの驚きや楽しさを感じながら過ごしています。子供たちの姿から、自分の指導や授業について、悩み反省する日々です。大変なことや不安に思うこともありますが、周りの先生方に支えられ、充実した日々を過ごしています。これからも周りの人への感謝の気持ちを忘れず、日々成長していきたいです。

桜井小学校 教諭 大原 彩花 

「子供たちと過ごす日々」

桜井小学校に着任してからの8か月は、本当にあっという間でした。毎日が新しいことの連続で、不安になることもありますが、素直でかわいい子供たちから元気をもったり、周りの先生方にたくさん助けていただいたりして、楽しく充実した日々を過ごしています。子供たちと過ごす時間を大切に、一人一人が「できた」「楽しい」と輝くことができる学級を目指して、子供たちと共に学び、成長していきたいです。



センターの入り口で  
自生したトレニア

荻生小学校 教諭 竹田 梨那 

「子供たちと共に」

子供たちと泣いたり笑ったりしながら過ごす日々は、色とりどりで、あっという間の半年でした。着任当初は、新しいことが連続の毎日に不安でいっぱいでしたが、先輩方の温かい支えのおかげで、今では「明日はどんな顔を見せてくれるのかな？」と学校へ行くことが楽しみでなりません。これからも子供たちと一緒に、全力で学んだり遊んだりしながら、共に成長していきたいです。

若栗小学校 養護教諭 内山 侑香 

「夢だった養護教諭になって」

「元気になった！」と、保健室で手当てや会話をした後、笑顔で教室に戻っていく子供たち。そんな姿を見ると養護教諭としてのやりがいを感じます。「保健室に来る子供には必ず理由がある」という恩師の言葉を心に留め、どのように対応するか試行錯誤の日々ですが、先生方と連携、協力しながら、子供たちの成長を見守ることができることが楽しさの一つです。初心を忘れず、受け止めつつも、温かく子供の背中を押せる養護教諭でありたいと思っています。

若栗小学校 教諭 山崎 怜奈 

「心動く日々」

教師になってからは、とにかく失敗ばかり。慣れない土地で挫けてしまいそうになることもありました。その度に、周りの先生方に助けていただき、子供たちの明るい笑顔に励まされ、毎日駆け抜けてきました。子供たちと過ごす日々は本当にあっという間で、その時その瞬間がかけがえのない宝物です。これからも、感謝の心を忘れず、子供たちに負けにくいくらい成長し続けていきたいと思っています。

明峰中学校 教諭 平井 玲衣 

「学び続ける」

明峰中学校の元気いっぱいな生徒たちと過ごすうちに、気が付けば着任から半年が過ぎていました。4月当初は慣れない黒部で働くことを不安に思っていました。しかし、頼りになる先輩の先生方や明るく前向きな生徒たちと関わる中で、私自身も次第に楽しさを感じるようになりました。毎日はあっという間に過ぎていきますが、生徒たちと過ごす一日一日を大切に、学び続けていきたいです。

明峰中学校 教諭 松本 馨子 

「生徒たちとともに」

4月から生徒たちとともに、楽しく多くのことを学びながらこの半年間を過ごしてきました。着任したばかりの頃は、初めてのことが多く戸惑うこともありましたが、生徒たちの挨拶、授業中に見られる「分かった。」という笑顔や表情、それらの一つ一つがこの学校で教員になってよかったと感じさせてくれます。これからも日々を大切に、生徒一人一人が輝けるよう支援していきたいと思っています。

# 《教育センター夏季研修会での学び》

## 【黒部市令和のとやま型教育推進事業学力向上研修会】

○7月29日（月）上越教育大学 教授 水落芳明先生

学級目標と関連付けた教科指導の方法について具体から学ぶことができたことがよかったです。わかっている人が進んで助けようとし、わからない人が素直にSOSを出せるクラスにすることが大切なのだなと印象に残りました。

児童の裁量を認めることが、学習意欲に繋がる、というお話が特に印象に残った。



## 【授業力向上に関する講演会（魚津地区教育センター協業事業）】

○7月31日（水）東京学芸大学教育学部 准教授 大村龍太郎先生



子供自身で疑問に思うことや知りたいことを選んだり決めたりすることが、教師も子供も豊かに学べる授業になると思った。また、子供が気づけるように考えて仕組んでいくことも大切だと思った。

子供たちが自己調整できるように、子供にコントローラーを渡すということ、そしてICTを有効に活用して個別最適な学びの機会を確保することが大切だと分かった。

## 【郷土を学ぶ研修会】

○8月2日（金）黒部市ジオパーク推進班長 王生 透先生

黒部市の地形や産業などについて、初めて知ることばかりでした。地域をよく知ることで、授業でも取り入れることができると分かりました。

愛本橋をつくった技術力がとても印象に残っています。また、橋をかける地理的な条件だけでなく歴史的な観点も踏まえながら教科横断的に子供の学ぶ場を用意できると感じました。



## 【外国語教育研修会】

○8月8日（木）富山大学大学院教職実践開発研究科 教授 岡崎浩幸先生



「誤りを恐れず誤りを楽しむ」という考え方に安心しました。“先生も一生懸命に英語を発している”姿を見せていきたいと思います。また、どの教科や活動でも、間違えてもOKな雰囲気、人間関係が必要だと思うので、子供たちが安心して過ごせる学級経営に努めたいと思います。

授業の中に成功体験をいくつか入れられるような授業を展開したいと思った。

### 【i-check 活用研修会】

○8月9日（金）東京家政大学 非常勤講師 山浦秀男先生

i-checkでは児童一人一人の普段みることのできない様々なことを知ることができるところを学びました。これらのデータを活かして、一人一人の支援や学級経営について考えていけるよう今回いただいた資料を再度読み込もうと思います。



学力と自己肯定感は深く関係があることを知り、自己肯定感を上げるために、「ほめる」「認める」「励ます」ことをしていきたいと思った。また、一律に同じ言葉がけをするのではなく、エビデンスを基に、子供たちの声がかえり変えることで、効果的に子供たちの自己肯定感をあげられる教師になりたいと思った。

### 【特別支援教育研修会】

○8月22日（木）富山県教育委員会教育みらい室  
インクルーシブ教育推進員 浜松英久先生

インクルーシブ教育について、いろいろな研修等に参加しているが、改めて考えるよい機会となりました。日頃から、子供たちとの対話を通して、子供たちの様子や会話内容からその様子、背景を読み取れるように心がけていますが、今後も個別の対話を大切に、また、担任の先生方にもその大切さを伝えていきたいと思いました。



障害があるなしにかかわらず、どの子供もその子供の強みが発揮できるような学習の場を大切にしていきたいと思いました。これからもささいなことでも対話を大事に子供たちと向き合っていきたいと思います。

### 【学校マネジメント研修会】

○8月27日（火）新潟薬科大学 非常勤講師 大山賢一先生



教育目標を周知し、それぞれの立場で何ができるか考えるということが大事だと分かった。

コミュニティスクールを推進していく上で、学校とともに、保護者や地域が当事者意識をもって取り組めることが大事であることを再認識した。また、校内でも管理職以外でも窓口となれるよう、可能であれば分野別に調整役を決め、それぞれがよりよく機能する組織をつくりたい。

多くの先生方にご参加いただきました。ありがとうございました。

【夏季研修で学んだキーワード】

「対話」・・・児童生徒との対話を通して思いや背景を知る

「〇〇づくり」・・・授業づくり、関係づくり、集団づくり...

「価値づける」・・・褒める、認める、励ます、前向きな捉えを伝える

# 全国学力・学習状況調査 黒部市の結果について

## 1 教科に関する調査の結果から（国語、算数・数学）

	小学校 6 年生		中学校 3 年生	
	国語	算数	国語	数学
黒部市	69%	62%	63%	56%
富山県	69%	64%	60%	56%
全 国	67.7%	63.4%	58.1%	52.5%

詳しい分析につきましては、教育センターから報告書を作成して配布しますのでご覧ください。質問紙調査も抜粋して記載しています。

	小学校	中学校
国語	文章を読んで答える問題など、思考・判断・表現を問う問題は全国平均を上回っているものが多かった。一方、漢字の書き取りなど知識を問う問題は全国平均を下回ったものが多かった。無解答の数は全国と比べて少なかった。	全ての問題の正答率が全国平均を上回っていた。無解答の数も全国平均より少なかった。
算数 数学	図形の知識・技能を問う問題は全国平均を上回っていた。一方、小数の割り算や、図形の体積を求める式を書く問題では、全国平均を下回った。また、無回答の数も全国と比べて多かった。	ほとんどの問題の正答率が全国平均を上回っている。一方、記述問題の無解答が多かった。

## 2 児童生徒質問紙調査の結果から

### ◎全国と比較して肯定的回答が3ポイント以上高い項目

- NO.2 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。（中）
- NO.3 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。（小）
- NO.5,6 普段1日当たりのゲームや動画視聴の時間が1時間未満（中）
- NO.16 学校に行くのは楽しいと思いますか。（中）
- NO.25 地域や社会をよくするために何かしたいと思いますか。（中）
- NO.39 学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか。（中）
- NO.42 国語の授業は好きですか。（小、中）
- NO.61~ 英語の言語活動に関する5つの質問全て（中）

- ・ 基本的な生活習慣が身に付いています。
- ・ 中学校の学活や道徳等で、話し合いが活発に行われています。

### △全国と比較して、肯定的回答が3ポイント以上低い項目

- NO.11 将来の夢や目標を持っていますか。（小、中）
- NO.12 人が困っているときは、進んで助けていますか。（中）
- NO.14 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。（中）
- NO.17 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。（小）
- NO.20 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができますか。（小、中）
- NO.30 これまでに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。（小、中）
- NO.34 学習した内容について、分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができますか。（小、中）
- NO.50 算数（数学）の勉強は好きですか。（小、中）

- ・ NO.20,30,34 は主体的な学びや自己調整に関わる項目です。児童生徒が自ら学びを進めることができるよう、授業改善を進めましょう。

### 3 学校質問紙の結果から

#### 【教員研修の取組】

質問「授業研究や事例研究など、実践的な研修を行っていますか」

	黒部市	全 国
小学校	88.8%	98.6%
中学校	100%	94.8%

#### 【授業改善への取組】

質問「調査対象学年の児童生徒は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか」

	黒部市	全 国
小学校	77.8%	88.2%
中学校	50.0%	88.4%

#### 【ICTを活用した学習状況について】

質問「調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか」

	黒部市	全 国
小学校	77.7%	93.2%
中学校	100%	90.8%

調査問題や質問紙の内容を学習指導要領が求める資質・能力に関する具体的なメッセージと捉え、児童生徒のよさや課題を把握・分析・改善に生かしたり、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てたりしましょう。

#### ほっとスペース「あゆみ」より

.....ほっとスペース「あゆみ」日記 10月18日(金).....

秋の所外体験活動を実施しました。スクールバスを利用してうなづき友学館まで行き、歴史民俗資料館を見学しました。その後、宇奈月温泉街にある各施設（宇奈月ダム展望台、やまびこ遊歩道、山彦橋等）を見学したり、足湯に入ったりしました。帰りは自分たちで切符を購入し、地鉄電車を利用してほっとスペースに戻りました。宇奈月温泉の自然や歴史に触れ、ルールやマナーを守ることを実践し、仲間と協力して行動することができました。

#### 〔参加した児童の感想〕

- 今日遠足で宇奈月に行った。それで、カメムシがいっぱいいてこわかった。
- 今日はえんそくで、うなづきおんせんでカメムシがたいりょうはっせいしてて、ともだちになりたかった。
- 今日は、待ちに待った遠足で宇奈月温泉めぐりをした。すごかったのは、カメムシだった。外や駅の中、電車の中までカメムシがいた。すごくおどろいた。楽しかったのは、大夢来館(ダムこんかん)や足湯、トロッコ電車まで見ることができた。すごく楽しかったので、またみんなで宇奈月温泉に行きたい。



通所している児童生徒について、いつでも電話してください。ケース会議にも参加します。こちらからお知らせしたいことがあるときには、メールや電話で連絡させていただきます。



## 第19回 黒部市小・中学校科学作品展 最優秀賞

市内小中学校から優秀作品52点が集まり、その中から以下の7作品が最優秀賞に選ばれました。さらに厳選された4作品が県出品となり、第83回富山県科学展覧会で賞を受けました。(◆は県での受賞名)

### ○ものうきしずみ

村椿小1年 野崎 陽斗

### ○指のしわしわ大発見!~パート3~

◆研究努力賞 荻生小3年 小澤 唯花

### ○ゆれに強いのはどれ

◆創意工夫賞 桜井小4年 安田 耀

### ○味も見た目も変わらない方法はあるの?

◆創意工夫賞 桜井小5年 城 知実

### ○あさがおのけいぞく研究 NO.4

荻生小5年 栗林 葵

### ○モリアオガエルの観察パートⅦ

~モリアオガエルの変態~

~モリアオガエルの危機!?!と利き手~

◆研究努力賞 明峰中1年 中西 瑠煌斗

### ○枝豆倍増計画

清明中2年 新村 真凜



## 第19回 黒部市少年少女発明くふう展 県での受賞

今年度も多くの作品(小学校113作品、中学校12作品)が出品されました。その中から38作品が優秀賞となり、県発明とくふう展に出品されました。第62回富山県発明とくふう展では以下の14作品が受賞しました。(◆は県での受賞名)

### ○片手で使えるトイレトペーパーホルダー

◆発明協会会長奨励賞  
明峰中2年 寺田 薫乃

### ○ハンガーうごかんぞー

◆富山県知事賞 村椿小2年 山崎 彩葉

### ○地しんストッパー

◆黒部市長賞 村椿小3年 二法田悠楓

### ○こんなことできませんゾートロープ

◆優秀賞 若栗小1年 吉澤 理雄

### ○楽楽カードホルダー

◆優秀賞 桜井小4年 平田 璃咲

### ○取れロウ

◆優秀賞 宇奈月小4年 松倉 良磨

### ○くつ洗い機

◆優秀賞 石田小5年 山本 ゆき

### ○毛糸グルグルおもしろペンたて

◆優秀賞 宇奈月小6年 八木 壱弦

### ○ローリングストック容器

◆優秀賞 明峰中2年 舟本 桂介

### ○静電気発生装置つき消しカスクリーナー

◆優秀賞 明峰中3年 宮寺奏和子

### ○ノー!水しぶき

◆奨励賞 石田小2年 宮崎 莉生

### ○けしゴムくん おかえり!

◆奨励賞 宇奈月小2年 飛島 悠人

### ○水はね!!ぼう止くん

◆奨励賞 中央小3年 谷川 佑希

### ○一気に全面洗える くつ洗い機

◆奨励賞 桜井小6年 村山 碧